

の BDNF 抗体投与が知覚の再生に及ぼす影響, 平成 25 年度新潟歯学会第 2 回例会, 2013 年 11 月 9 日, 新潟市, 2013

- 18) 田中 裕, 村松芳幸, 村松公美子, 真島一郎, 藤村健夫, 清水夏恵, 清野 洋, 櫻井浩治, 瀬尾憲司: SF-8 を用いた慢性疼痛を有する歯科心身症患者の健康関連 QOL の検討, 第 18 回日本心療内科学会総会, 2013 年 12 月 7-8 日, 名古屋市, 日本心療内科学会誌, 17 (別冊), 66, 2013.
- 19) 古谷健太, 渡部達範, 瀬尾憲司: スガマデクスの緊急大量投与に要する時間の検討, 第日本医学シミュレーション学会, 2014 年 2 月 15-16 日, 栃木, 日本医学シミュレーション学会抄録集, 37, 2013.

#### 【研究会発表】

- 1) 弦巻 立: 挿管困難への対応～トリーチャーコリンズ症候群の症例から～, 第 72 回新潟口腔外科歯科麻酔科集談会, 2013 年 5 月 16 日, 新潟市.
- 2) 吉川博之, Y.M. Valverde Guevara, 瀬尾憲司: 末梢神経損傷後の神経腫形成に及ぼす大建中湯の効果, 第 22 回日本東洋医学関東甲信越支部新潟県部会講演会, 2013 年 9 月 29 日, 新潟市
- 3) 平原三貴子: 高用量オピオイドの持続投与により癌性疼痛管理を行っている患者の全身麻酔経験, 第 73 回新潟口腔外科麻酔科集談会, 2013 年 11 月 14 日, 新潟市.
- 4) 照光 真: 下顎骨髄炎後の難治性疼痛ーその歯は抜くべきか?ー, 新潟疼痛懇話会, 2014 年 2 月 13 日, 新潟市.
- 5) 倉田行伸, 照光 真, 瀬尾憲司: 神経障害性疼痛の末梢神経 MRI その形態異常から見えてくるもの, 第 5 回新潟疼痛懇話会, 2014 年 3 月 27 日, 新潟市.

#### 【その他】

- 1) 瀬尾憲司, 田中 裕: MINI DAM セミナー, 2013 年 4 月 6 日, 新潟大学.
- 2) 瀬尾憲司: 新潟大学 ICLS 講習会インストラクター, 2013 年 4 月 11 日, 新潟大学.
- 3) 瀬尾憲司, 田中 裕: 佐久市歯科医師会主催救急講習会, 2013 年 4 月 20 日, 佐久市.
- 4) 瀬尾憲司, 田中 裕, 弦巻 立: 上越市歯科医師会主催救急講習会, 2013 年 5 月 12 日, 上越市.
- 5) 瀬尾憲司, 田中 裕, 倉田行伸: 日本シミュレーション学会主催 第 29 回 SED コース インストラクター, 2013 年 6 月 29 日, 新潟大学, 新潟市.
- 6) 瀬尾憲司, 他: 7 月 28 日, 新潟県歯科医師会救急講習会, 新潟市.
- 7) 瀬尾憲司, 他: 医療法人徳真会主催救急講習会, 2013

年 8 月 24 日, 新潟市.

- 8) 瀬尾憲司: クリニカルトピックス「歯科医師が目指すべき歯科院内救急体制について」, 新歯界, 725, 2-3, 2013 (6), 新潟県歯科医師会, 2013.
- 9) 瀬尾憲司: 日本シミュレーション学会主催 DAM 講習会インストラクター 2014 年 2 月 21 日, 新潟市.
- 10) 照光 真: 平成 25 年度脳研夏季セミナー(講師), 2013 年 7 月 25 日～27 日, 新潟市.
- 11) 照光 真: 損傷末梢神経の異常再生に対する高磁場 MRI による水分子の拡散解析 (第 39 回日本歯科麻酔学会学術集会 デンツブライ賞), 歯学部ニュース, 平成 25 年度第 1 号 (123 号), 48, 2013.
- 12) 照光 真: 日本医学シミュレーション学会主催 SED 実践セミナー修了 2013 年 12 月 15 日, 東京.
- 13) 照光 真: 日本医学シミュレーション学会主催 CVC セミナー修了, 2013 年 12 月 15 日, 東京.
- 14) 照光 真: 日本医学シミュレーション学会主催 DAM 実践セミナー修了, 2013 年 12 月 15 日, 東京.
- 15) 弦巻 立: 平成 24 年度後期心身障害児(者)全身麻酔下歯科治療事業に参加して, 日本歯科麻酔学会雑誌, 41(5), 651, 2013.
- 16) 弦巻 立: 心身障害児(者)全身麻酔下歯科治療事業に参加して, 沖縄県口腔衛生センター年報 2012 年度, 22-23, 2013.
- 17) 金丸博子, 山崎麻衣子: AHA ACLS provider 取得, 2013 年 12 月 15 日.
- 18) 山崎麻衣子: 日本歯科麻酔学会認定医取得 (第 1371 号), 2013 年 8 月 25 日.
- 19) 須田有紀子, 平原三貴子, 山田友里恵: AHA BLS Provider 取得, 2013 年 6 月 20 日, 新潟市.
- 20) 須田有紀子, 平原三貴子, 山田友里恵: 日本シミュレーション学会主催 DAM 講習会受講, 2014 年 2 月 21 日, 新潟市.

#### 口腔生命福祉

#### 【著書】

- 1) 福島正義: 第 2 版 象牙質知覚過敏症/目からウロコのパーフェクト治療ガイド(富士谷盛興, 千田 彰編著), 分担執筆 P36, 医歯薬出版, 東京, 2013 年 6 月.
- 2) 風間龍之輔, 福島正義: 新しい治療テクニックにかかわる基礎知識. 歯科衛生士ベーシックスタンダード/審美歯科(末瀬一彦, 土屋和子, 南 昌宏, 宮崎真至編著), 分担執筆 P76～80, 医歯薬出版, 東京, 2013 年 7 月.
- 3) 葭原明弘: 歯科保健活動で「地域とつながる」ということ, 公衆衛生, Vol. 77 No. 2 111-115, 医学書院, 東京, 2013.

- 4) 山崎和久・多部田康一 ザ・ペリオドントロジー第2版(和泉雄一・木下淳博・沼部幸博・山本松男編著)第1章歯周疾患を正しく理解するための基礎知識 6. 歯周疾患の免疫学 21-26 ページ 永末書店 2014年
- 5) 田浦勝彦, 八木 稔, 田口千恵子, 木本一成: Chapter 2 集団フッ化物応用の使用薬剤と安全管理, フッ化物をめぐる誤解を解くための12章(眞木吉信編), 医歯薬出版, 東京, 10-17, 2014.
- 6) 柴田佐都子, 平成 25 年度認定歯科衛生士セミナー 摂食・嚥下リハビリテーションコース テキスト P97~111 公益社団法人日本歯科衛生士会, 2013.

#### 【論文】

- 1) Iwasaki M, Moynihan P, Manz MC, Taylor GW, Yoshihara A, Muramatsu K, Watanabe R, Miyazaki H: Dietary antioxidants and periodontal disease in community-based older Japanese: A 2-year follow-up study. *Public Health Nutrition* 16(2):330-338, 2013.
- 2) Yoshihara A, Watanabe R, Nishimuta M, Miyazaki H: Tooth loss, periodontal disease, and mineral content of calcium and magnesium in the diet or urine in the elderly. *The Journal of Aging Research & Clinical Practice* 2: 126-130, 2013.
- 3) Wang Y, Sugita N, Yoshihara A, Iwasaki M, Miyazaki H, Nakamura K, Yoshie H: PPAR, Bone Mineral Density and Periodontitis in Postmenopausal Women. *Oral Disease* 19(5):501-506, 2013.
- 4) Kimura Y, Ogawa H, Yoshihara A, Yamaga T, Takiguchi T, Wada T, Sakamoto R, Ishimoto Y, Fukutomi E, Chen W, Fujisawa M, Okumiya K, Otsuka K, Miyazaki H, Matsubayashi K: Evaluation of chewing ability and its relationship with activities of daily living, depression, cognitive status, and food intake in the community-dwelling elderly, the *Geriatrics and Gerontology International* 13(3):718-725, 2013.
- 5) Iwasaki M, Taylor GW, Nakamura K, Yoshihara A, Miyazaki H: Association between low bone mineral density and clinical attachment loss in Japanese postmenopausal women *Journal of Periodontology* 84(12):1708-1716, 2013.
- 6) Yoshihara A, Iwasaki M, Ogawa H, Miyazaki H: Serum albumin levels and 10-year tooth loss in a 70-year-old population. *Journal of Oral Rehabilitation* 40(9):678-685, 2013.
- 7) Kitamura K, Nakamura K, Saito T, Kobayashi R, Oshiki R, Nishiwaki T, Iwasaki M, Yoshihara A: High serum 25-hydroxyvitamin D levels do not retard postmenopausal bone loss in Japanese women: the Yokogoshi Study. *Archives of Osteoporosis* 8(1-2):153, 2013.
- 8) Yoshizawa M, Koyama T, Izumi N, Niimi K, Ono Y, Ajima H, Funayama A, Mikami T, Kobayashi T, Ono K, Takagi R, Saito C: Autotransplantation or replantation of cryopreserved teeth: A case series and literature review. *Dent Traumatol.* 2013 Mar 10. doi: 10.1111/edt.12039.
- 9) Okui T, Aoki-Nonaka Y, Nakajima T, Yamazaki K. The role of distinct T cell subsets in periodontitis — Studies from humans and rodent models. *Curr Oral Health Rep.* 2014: in press.
- 10) Domon H, Tabeta K, Nakajima T, Yamazaki K. Age-related alterations in gene expression of gingival fibroblasts stimulated with *Porphyromonas gingivalis*. *J Periodontal Res.* 2014: in press.
- 11) Nakajima M, Honda T, Miyauchi S, Yamazaki K. Th2 cytokines efficiently stimulate periostin production in gingival fibroblasts but periostin does not induce inflammatory response in gingival epithelial cells. *Arch Oral Biol.* 2014: 59: 93-101.
- 12) Aoki-Nonaka Y, Nakajima T, Miyauchi S, Miyazawa H, Yamada H, Domon H, Tabeta K, Yamazaki K. Natural killer T cells mediate alveolar bone resorption and a systemic inflammatory response in response to oral infection of mice with *Porphyromonas gingivalis*. *J Periodontal Res.* 2014: 49: 69-76.
- 13) Hagiwara M, Kurita-Ochiai T, Kobayashi R, Hashizume-Takizawa T, Yamazaki K, Yamamoto M. Sublingual Vaccine with GroEL Attenuates Atherosclerosis. *J Dent Res.* 2014: 93: 382-387.
- 14) Stegaroiu R, Kouichi Kurokawa, Ryohei Takano, Hideyoshi Nishiyama, Takafumi Hayashi: Towards the Establishment of a Trabecular Model to Predict Bone Stress Around Implants from Cone-beam Computed Tomography Images. *Revista Romana de Stomatologie (Ro J Stomatol)*, LIX (3): 254-257, 2013. (LIX = 59)
- 15) 渡部平馬, 風間龍之輔. 浅井哲也, 石崎裕子, 福島正義, 興地隆史: 各種デュアルキュア型レジンセメントの長石系マシーナブルセラミック介在下における硬化度の検討, 日歯保存誌, 56 (3) : 223-230, 2013.
- 16) 石川裕子, 福島正義: 日本歯科衛生学会雑誌と *International Journal of Dental Hygiene* からみた研究動向の比較. 日本歯科衛生学会雑誌 8(2), 84-91, 2013.
- 17) 寺尾恵美子, 高木律男, 大湊麗, 児玉泰光, 飯田明彦, 五十嵐友樹, 小野和宏: 片側性唇顎口蓋裂児

に対する Hotz 床併用二段階口蓋形成法の 8 歳時までの言語成績—Furrow 法による軟口蓋形成術の評価—。日口蓋誌, 38: 104-112, 2013.

- 18) 小山貴寛, 芳澤享子, 小野和宏, 阿部裕子, 森田修一, 高木律男: 永久歯の歯胚回転を行い萌出方向の改善を行った 3 例。日口外誌, 59: 704-707, 2013.
- 19) 松下佳代, 小野和宏, 高橋雄介: レポート評価におけるルーブリックの開発とその信頼性の検討。大学教育学会誌, 35(1): 107-115, 2013.
- 20) 岸本奈月, ステガロユ・ロクサーナ, 柴田佐都子, 伊藤加代子, 大内章嗣. 経口摂取が口腔内水分量と唾液および舌苔中の微生物量に与える影響—嚥下障害を併発するシェーグレン症候群患者に嚥下直接訓練を実施した一症例—日本歯科衛生学会雑誌 8 巻 1 号: 63-69 頁, 2013 年.
- 21) 野沢恩美, 塩生有希, 長澤麻沙子, 八木稔, Roxana Stegaroiu, 魚島勝美. 新潟大学医歯学総合病院歯科総合診療部における歯科用ユニットの汚染調査. 新潟歯学会雑誌 43(1): 43-49, 2013.
- 22) 小野和宏, 西山秀昌, 八木 稔, ステガロユ・ロクサーナ, 重谷佳見, 山村健介, 井上 誠, 前田健康. 大学学習法へのパフォーマンス評価導入における実践的課題. 新潟大学高等教育研究 1 巻第 2 号: 5-8, 2014 年.

#### 【商業誌】

- 1) 福島正義: 特集 変色歯への対応/変色歯外来における取り組み、補綴臨床、46(3): 234-243, 2013.
- 2) 福島正義: 海外ジャーナル Watching/高齢者の根面う蝕予防効果の臨床比較、デンタルダイヤモンド、39(1): 75, 2014.
- 3) 依田慶太, 葉山博工, 風間龍之輔, 若林則幸, 福島正義: クリニカルアドバンス/進化する歯科用 CAD/CAM システムの最新事情、デンタルダイヤモンド、39(1)、154-161, 2014.
- 4) 狩野祥司: クエスチョン・バンク社会福祉士国家試験問題解説 2015、28-30、メディックメディア、東京、2014
- 5) 葭原明弘: NPO との協働による住民参加型歯科保健推進事業 (は～もに～プロジェクト) . 公益財団法人 8020 推進財団会誌
- 6) 山崎和久・中川種昭・中島貴子, 座談会「歯周病治療におけるシタフロキサシンの位置づけ」, 歯界展望 第 123 巻, 2014 年 2 月号, 386-390 項

#### 【研究費獲得】

- 1) 福島正義: 長期臨床データに基づく接着性セラミッ

ク系修復物の寿命要因の分析. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C), 25462953, 2013.

- 2) 葭原明弘, 宮崎秀夫, 中村和利: 脂質・糖・骨代謝異常と歯周病との共通遺伝子・修飾要因の解明および疾患モデルの構築, 日本学術振興会科学研究補助金, 基盤研究 (B), 21390558, 2013.
- 3) 小野和宏 (代表), 井上誠, 谷口裕重, 真柄仁: 舌骨喉頭位と嚥下機能の関連. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C), 25462992, 2013-2015.
- 4) 山崎和久 (代表) 脂質代謝バランスの揺らぎと歯周疾患のパスウェイ解析. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (B), 23390476, 2011-2013.
- 5) 山崎和久 (代表) ペリオドンタルメディスン病因論の新展開—口腔細菌による腸内細菌叢攪乱説の樹立—. 日本学術振興会科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究, 25670882, 2013-2014.
- 6) 飯吉透, 梶田将司, 酒井博之, 溝上慎一, 喜多一, 小野和宏 (分担), 岡部洋一, 尾澤重知, 土佐尚子, 高橋幸, 重田勝介, 大塚雄作, 松下佳代, 鈴木晶子, 田口真奈, 村上正行: 大学教育改善の促進と教育イノベーション普及のための「大学教育コモンズ」の構築. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (A), 25242017, 2013-2015.
- 7) 小野和宏 (代表), 前田健康, 松下佳代: 問題基盤型学習へのトリプルジャンプの導入. 平成 25 年度新潟大学組織的教育プロジェクト, 2013. (5,000,000 円)
- 8) Stegaroiu Roxana, 黒川孝一: インプラント術前予測のためのコーンビーム CT を活用したヒト生体骨梁モデルの確立、日本学術振興会科学研究費補助金研究、基盤研究 (C)、課題番号 24592909、2013.
- 9) 石川裕子, 大島勇人: 胎生期ラベリング法を用いた歯髄幹細胞の局在と維持機構の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C), 25462955, 2013.
- 10) 八木 稔: 新たな時代の乳歯う蝕のリスク評価と歯科保健プログラムの開発、日本学術振興会科学研究補助金, 基盤研究 (C), 24593145, 2013.
- 11) 柴田佐都子, 伊藤加代子, ステガロユ・ロクサーナ, 大内章嗣: 歯科専門職介入の必要性を判断するための多職種向けスクリーニング用紙の開発, 平成 25 年 8020 研究事業, 13-3-07, 2013.
- 12) 山崎和久: 歯周病原細菌誘導性メタボリックシンドロームに及ぼすプロポリス配合食の効果. 山田養蜂場 みつばち研究助成基金, 2013.

#### 【招待講演・シンポジウム】

- 1) Yamazaki, K. Periodontitis and Systemic Disease -New

Insights into the Mechanisms- Kyudai Oral Bioscience 2014 -8th International Symposium-, Fukuoka, March 1st, 2014.

- 2) Stegaroiu R , Kouichi Kurokawa , Ryohei Takano , Hideyoshi Nishiyama, Takafumi Hayashi. Towards the establishment of a trabecular model to predict bone stress around implants from cone-beam computed tomography images. Congresul Comun de Stomatologie SRS - GAO, Italia ; Bucharest, Romania, 2013 年 9 月 12~14 日.
- 3) 福島正義：根面う蝕について—そのマネージメントを考える—、第 17 回日本口腔衛生学会認定医研修会／予防歯科臨床研修、松本キッセイ文化ホール、2013 年 5 月 15 日
- 4) 高橋英樹：社会福祉の理念と動向。平成 25 年度社会福祉施設指導的職員研修、新潟、2013 年 9 月 9 日・19 日、同研修資料集 2-8 頁、2013
- 5) 高橋英樹：市民後見概論。平成 25 年度新潟市市民後見人養成研修、新潟、2013 年 9 月 27 日、同研修資料集 1-7 頁、2013
- 6) 高橋英樹：“虐待”と権利擁護：社会福祉法人更生慈仁会職員研修、新潟、2013 年 10 月 22 日、同研修資料集 1-8 頁、2013
- 7) 高橋英樹：児童養護施設におけるソーシャルワーカーの専門性、平成 25 年度新潟県児童養護施設協議会職員研修会、長岡、2013 年 11 月 29 日、同研修資料集 1-18 頁、2013
- 8) 高橋英樹：地域包括支援センターのチーム力を高めるために、平成 25 年度新潟市地域包括支援センター現任職員研修、2013 年 12 月 20 日、同研修資料集 1-12 頁
- 9) 小野和宏、松下佳代：社会で活躍する歯科医療人を育てるために—専門教育と連動したジェネリックスキルの育成と評価の現状—。河合塾 PROG セミナー 2013 動き始めたジェネリックスキルの育成と評価—教育改革の現場から見える成果と課題—。仙台、2013 年 6 月 15 日。
- 10) 小野和宏：シンポジウム「学生の学びをどうデータ化し、どう利用するか?」。学生の能力を把握して学びを促す—PBL における問題解決能力の直接評価を中心に—。第 20 回大学教育研究フォーラム、京都、2014 年 3 月 18 日。
- 11) 山崎和久：歯周病と心血管病変リスクの関連。ワークショップ「口腔内炎症性疾患と全身の関連」第 102 回日本病理学会総会、札幌市、2013 年 6 月 7 日。日本病理学会会誌第 102 巻第 1 号 214 頁。
- 12) 中川兼人：「地域包括ケアを推進するために」、平成 25 年度新潟県福祉行政新任職員研修、新潟、2013

年 5 月 22 日、同資料集 64—72 頁、2013。

#### 【学会発表】

- 1) Ishizaki H, Fukushima M: Seven-year clinical evaluation of restorations repaired by composite resin, The 5<sup>th</sup> International Congress on Adhesive Dentistry, Philadelphia, June 14-15, 2013.
- 2) Watanabe H, Kazama R, Asai T, Ishizaki H, Fukushima M, Okiji T: Efficacy of high-intensity LED curing-units on polymerization of resin cement, The 5<sup>th</sup> International Congress on Adhesive Dentistry, Philadelphia, June 14-15, 2013.
- 3) Stegaroiu R, Ohuchi A, Yoshihara A. The dental hygienist, a reliable partner of the dentist in oral health promotion: considerations from the viewpoint of the Japanese experience. The international symposium on oral and dental sciences, 2013 年 1 月 17 日～1 月 19 日。
- 4) Iwasaki M, Taylor GW, Manz MC, Yoshihara A, Muramatsu K, Watanabe R, Miyazaki H: Oral Health Status: Nutrient and Food Intakes among Older Japanese IADR/AADR/CADR General Session & Exhibition - Seattle, WAS, U.S.
- 5) Takiguchi T, Yoshihara A, Takano N, Miyazaki H: Relationship Between Oral Health and Depression in Japanese Elderly IADR/AADR/CADR General Session & Exhibition - Seattle, WAS, U.S.
- 6) Minagawa T, Okui T, Nakajima T, Tabeta K, and Yamazaki K. Antiinflammatory effects of resveratrol in human gingival epithelial cells. 3<sup>rd</sup> Meeting of the IADR Pan Asian Pacific Federation. Bangkok, Thailand, August 21, 2013.
- 7) Nakajima M, Honda T, Miyauchi S, Murakami S, Yamazaki K: Periostin stimulates inflammatory response of gingival fibroblast in an autocrine manner. 10<sup>th</sup> Asian Pacific Society of Periodontology Meeting, Nara, September 3-4, 2013, P45
- 8) Miyazawa H, Honda T, Miyauchi S, Okui T, Nakajima T, Tabeta K, Yamazaki K. Effect of periodontal infection on serum PCSK9 and lipid profiles. 3<sup>rd</sup> International symposium on health through oral health collaborative education, research and practices, Thailand, December 20-22, 2013
- 9) Yagi M, Tejima Y, Osabe M, Nakata H: Evaluation of factors associated with caries in deciduous dentition. 10<sup>th</sup> World Congress on Preventive Dentistry, Budapest (Hungary), 2013 年 10 月 9-12 日。
- 10) Stegaroiu R , Kurokawa Kouichi , Takano Ryohei , Nishiyama Hideyoshi, Hayashi Takafumi. Accuracy Of

- A 3D Finite Element Model Of An Implant-Inserted Dried Human Mandible Created From Cone-Beam CT Data: Comparison With A Model Created From Micro-CT Data. 15<sup>th</sup> Biennial Meeting of the International College of Prosthodontists (ICP), Turin, Italy, 2013.9.18-21, Conference Program: 134, 2013.
- 11) Aki M , Watanabe R, Muramatsu K, Yoshihara A , Miyazaki H: Realtionship between dietary energy density and 5-year aging in healthy free-living Japanese elderly, IUNS, 20<sup>th</sup> International Congress of Nutrition, 2013年9月20日.
  - 12) Sato M, Iwasaki M, Yoshihara A, Miyazaki H: Effects of periodontal disease on medical expenditures in elderly people, World Congress on Preventive Dentistry, 2013年10月9日～9月12日.
  - 13) Yakiguchi T, Yoshihara A, Miyazaki H: Longitudinal Relationship Between Depressive Symptom and Mouth Pain, The 3rd International Symposium on Human Resource Development towards Global Initiative, 2013年12月20日～12月22日.
  - 14) Hirotoomi T, Kocher T, Yoshihara A, Miyazaki H , Holtfreter B: Comparison of Periodontal Disease Conditions in Three Elderly Populations -One from Japan and Two from Germany, The 3rd International Symposium on Human Resource Development towards Global Initiative, 2013年12月20日～12月22日.
  - 15) Kodama Y, Takagi R, Tanaka R, Hayashi T, Kobayashi T, Koyama T, Nagata M, Ono K, Ohminato R: Mandibular ramus morphological overview using axial slice of computed tomography on patient with unilateral cleft lip and palate. 12th International Congress on Cleft Lip/Palate and Related Craniofacial Anomalies, May 5 - 10, 2013 Orlando, USA.
  - 16) 韓 臨麟、福島正義、興地隆史：重合方式がセルフアドヒーシブレジンセメントとCAD/CAM用セラミック被着体への接着に及ぼす影響、平成25年度春期第61回日本歯科理工学会学術講演会、日歯理工誌 Vol132, No2, p155、東京、2013. 4. 14
  - 17) 渡部平馬、風間龍之輔、浅井哲也、石崎裕子、渡邊孝一、福島正義、興地隆史：高出力LED照射器がデュアルキュア型レジンセメントの硬化度に与える影響、第46回新潟歯学会総会、新潟大学歯学部、平成25年4月20日
  - 18) 石川裕子、柴田佐都子、福島正義：学生相互実習におけるセルフケアおよび専門的歯面清掃の自己評価法の評価：第32回日本歯科医学教育学会総会および学術大会プログラム・抄録集、P162, 札幌、2013. 7. 13
  - 19) 渡部平馬、風間龍之輔、浅井哲也、金谷史夫、石崎裕子、福島正義、興地隆史：各種CAD/CAM用マシナブルブロックの厚さが光透過性に与える影響、第24回日本歯科審美学会学術大会プログラム・抄録集、P92, 2013. 7. 21, 東京
  - 20) 木村有子、隅田好美、日山邦枝、福島正義：大学院における新人歯科衛生士のリアリティショックと成長過程、日本歯科衛生学会第8回学術大会、平成25年9月15日、神戸、日衛学誌、8(1)、P151、2013.
  - 21) 石川裕子、福島正義：日衛学誌とIJDHからみた研究動向の比較、日本歯科衛生学会第8回学術大会、平成25年9月16日、神戸、日衛学誌、8(1)、P266、2013.
  - 22) 安藝 真里子、渡邊 令子、村松 芳多子、村木 祐子、葭原 明弘、宮崎 秀夫：75歳自立高齢者における米飯食の頻度と栄養素等摂取量および食物摂取量の関連、第67回 日本栄養・食糧学会 in 名古屋、2013年5月24～5月26日.
  - 23) 岩崎正則、葭原明弘、宮崎秀夫：地域在住女性高齢者における腎機能と歯周組織の炎症部位面積に関する横断調査、口腔衛生会誌、6(2)：148、2013.
  - 24) 安藤雄一、牧 茂、川崎浩二、内藤 徹、葭原明弘、坂本友紀、青山 旬、花田信弘、豊島義博、杉山精一：政策声明「う蝕のない社会の実現に向けて（仮称）」の作成について、口腔衛生会誌、6(2)：213、2013.
  - 25) 橋元千久佐、葭原明弘、宮崎秀夫：地域在住高齢者における口腔の自覚症状と関連要因に関する研究、平成25年度新潟歯学会第1回例会、新潟大学歯学部、2013年7月6日.
  - 26) 瀧口知彌、葭原明弘、高野尚子、宮崎秀夫：高齢者の口腔健康状態とうつ傾向の関連について、平成25年度新潟歯学会第1回例会、新潟大学歯学部、2013年7月6日.
  - 27) 藤井香那、葭原明弘、有松美紀子、高橋純子、山田智子、佐藤徹、荒井節男、清田義和：市職員に対する標準的な成人歯科健診プログラムによる歯科保健行動の変容、平成25年度第24回甲信越北陸口腔保健研究会総会、アオーレ長岡（長岡市）、2013年7月27日
  - 28) 笹嶋真高、葭原明弘、宮崎秀夫：地域高齢者におけるQOLの低下と全身および口腔健康状態の関連、平成25年度第24回甲信越北陸口腔保健研究会総会、アオーレ長岡（長岡市）、2013年7月27日
  - 29) 小野和宏：シンポジウム II Japanleft 委員会発足の経緯とこれから. SII-2 多施設比較研究「Japanleft プロジェクト」から学んだこと. 第37回日本口蓋

- 裂学会総会・学術集会, 佐賀, 2013年5月31日. 日口蓋誌, 38: 161頁, 2013年.
- 30) 石澤尚子, 小野和宏, 八木 稔, 隅田好美: 口唇口蓋裂児の母親の心情と治療に対する意思決定過程. 平成25年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2013年11月9日.
- 31) 上杉崇史, 小野和宏, 安島久雄, 児玉泰光, 森田修一, 小林正治, 高木律男: 顎矯正手術後に睡眠呼吸障害の改善が認められた両側唇顎口蓋裂を伴うトリチャーコリンズ症候群の1例. 第37回日本口蓋裂学会総会・学術総会, 佐賀市, 2013年5月30-31日. 日口蓋誌 38(2): 209, 2013.
- 32) 児玉泰光, 田中礼, 永田昌毅, 小山貴寛, 小林孝憲, 五十嵐友樹, 大湊麗, 林孝文, 小野和宏, 高木律男: 口唇口蓋裂患者における顎矯正手術に関連した下顎枝の形態学的特徴. 第37回日本口蓋裂学会総会・学術総会, 佐賀市, 2013年5月30-31日. 日口蓋誌 38(2): 237, 2013.
- 33) 大湊麗, 小林孝憲, 児玉泰光, 小山貴寛, 永田昌毅, 飯田明彦, 小野和宏, 高木律男: 粘膜下口蓋裂に関する臨床的検討—言語成績について—. 第37回日本口蓋裂学会総会・学術総会, 佐賀市, 2013年5月30-31日. 日口蓋誌 38(2): 250, 2013.
- 34) 小林孝憲, 大湊麗, 児玉泰光, 小山貴寛, 永田昌毅, 飯田明彦, 小野和宏, 高木律男: 粘膜下口蓋裂に関する臨床的検討—診断と治療について—. 第37回日本口蓋裂学会総会・学術総会, 佐賀市, 2013年5月30-31日. 日口蓋誌 38(2): 224, 2013.
- 35) 宮澤春菜, 本田朋之, 宮内小百合, 土門哲久, 奥井隆文, 中島貴子, 多部田康一, 山崎和久: 歯周炎罹患がPCSK9および脂質プロファイルに及ぼす影響. 第46回新潟歯学会総会, 新潟, 2013.4.20.
- 36) 宮内小百合, 本田朋之, 奥井隆文, 中島貴子, 多部田康一, 山崎和久: ヒト歯肉上皮細胞におけるinterleukin(IL) -17とIL-17受容体の発現プロファイル. 日歯周誌 55巻 春季特別号 16ページ, 第56回春季日本歯周病学会学術大会, 東京, 2013.5.31.
- 37) 山崎和久, 有松圭, 土門久哲, 山田ひとみ, 宮内小百合, 宮澤春菜, 皆川高嘉, 中島麻由佳, 中島貴子, 多部田康一: *Porphyromonas gingivalis* 口腔感染はマウス腸内細菌叢を変動させインスリン抵抗性を誘導する. 日歯周誌 55巻 春季特別号 42ページ, 第56回春季日本歯周病学会学術大会, 東京, 2013.6.1.
- 38) 有松圭, 土門久哲, 山田ひとみ, 宮内小百合, 宮澤春菜, 皆川高嘉, 中島麻由佳, 中島貴子, 多部田康一, 山崎和久: *Porphyromonas gingivalis* 口腔感染マウスモデルで誘導させるインスリン抵抗性は脂肪組織及び肝臓における炎症反応と関連する. 日歯周誌 55巻 春季特別号 42ページ, 第56回春季日本歯周病学会学術大会, 東京, 2013.6.1.
- 39) 山田ひとみ, 中島貴子, 宮澤春菜, 奥井隆文, 多部田康一, 山崎和久: *Porphyromonas gingivalis* 感染はNKT細胞のサイトカイン産生を誘導する. 抄録集 26ページ 第138回日本歯科保存学会2013年度春季学術大会, 福岡, 2013.6.27.
- 40) 土門久哲, 山田ひとみ, 宮内小百合, 宮澤春菜, 中島貴子, 多部田康一, 山崎和久: *Porphyromonas gingivalis* 口腔感染マウスモデルにおいて小胞体ストレスは破骨細胞形成に関与し歯槽骨吸収を誘導する. 抄録集 27ページ 第138回日本歯科保存学会2013年度春季学術大会, 福岡, 2013.6.27.
- 41) 皆川高嘉, 奥井隆文, 中島貴子, 多部田康一, 村上伸也, 山崎和久: Resveratrolがヒト歯肉上皮細胞の炎症性応答に及ぼす影響. 抄録集 66ページ 第138回日本歯科保存学会2013年度春季学術大会, 福岡, 2013.6.28.
- 42) 奥井隆文, 皆川高嘉, 多部田康一, 中島貴子, 村上伸也, 山崎和久. Resveratrolは歯肉上皮細胞の炎症性応答を抑制する. 日歯周誌 55巻 秋季特別号 109ページ. 第56回秋季日本歯周病学会学術大会, 前橋, 2013年9.22.
- 43) 高橋直紀, 松田由実, 多部田康一, 山崎和久. 歯肉上皮細胞における新規イオンチャネルの発現解析およびその機能の検討. 日歯周誌 55巻 秋季特別号 110ページ. 第56回秋季日本歯周病学会学術大会, 前橋, 2013年9.22.
- 44) 中島貴子, 伊藤春江, 奥井隆文, 中島麻由佳, 宮下博考, 多部田康一, 山崎和久. 歯周病安定期治療中の活動性歯周ポケットに対する経口抗菌療法の細菌学的効果(第2報). 日歯周誌 55巻 秋季特別号 120ページ. 第56回秋季日本歯周病学会学術大会, 前橋, 2013年9.22.
- 45) 中島貴子, 奥井隆文, 伊藤晴江, 中島麻由佳, 多部田康一, 山崎和久: 歯周ポケットから臨床分離株に対する抗菌薬の有効性, 耐性の検討. 抄録集 51ページ 第139回日本歯科保存学会2013年度秋季学術大会, 秋田, 2013.10.17.
- 46) 中島麻由佳, 本田朋之, 宮内小百合, 村上伸也, 山崎和久: 歯周炎病態形成におけるPeriostinの役割. 抄録集 223ページ 第139回日本歯科保存学会2013年度秋季学術大会, 秋田, 2013.10.18.
- 47) 山田ひとみ, 土門久哲, 宮内小百合, 中島貴子, 多部田康一, 山崎和久: *Porphyromonas gingivalis* 口腔感染マウスモデルにおいて小胞体ストレスは破骨

- 細胞形成に関与し歯槽骨吸収を誘導する. 平成 25 年度新潟歯学会第 2 回例会、新潟、2013. 11. 9.
- 48) 佐藤 徹, 土屋信人, 山田智子, 八木 稔, 小松崎明, 荒井節男, 清田義和, 安藤雄一: 地域において展開された生活歯援プログラムの検討, 第 62 回日本口腔衛生学会・総会, 松本市, 2013 年 5 月 15-17 日, 口腔衛生学会誌, 63(2): 153, 2013.
- 49) 筒井昭仁, 安藤雄一, 田浦勝彦, 田口千恵子, 萩原吉則, 八木 稔, 山内皓央, 境 脩: 歯科専門家が考える水道水フッロリデーションができない理由と、どうすればできるか, 第 62 回日本口腔衛生学会・総会, 松本市, 2013 年 5 月 15-17 日, 口腔衛生学会誌, 63(2): 155, 2013.
- 50) 田口可奈子, 野上有紀子, 八木 稔: 成人の歯科的予防処置に必要な歯科衛生士の推計(第 2 報), 第 62 回日本口腔衛生学会・総会, 松本市, 2013 年 5 月 15-17 日, 口腔衛生学会誌, 63(2): 212, 2013.
- 51) 八木 稔: 新たな時代の乳歯う蝕のリスク評価 う蝕減少期における予防プログラムの再検討, 第 54 回日本歯科医療管理学会総会・学術大会, 瑞穂市, 2013 年 6 月 29-30 日, 日本歯科医療管理学会雑誌, 48(1): 31, 2013.
- 52) 手嶋謡子, 長部麻未, 八木 稔: 新たな時代の乳歯う蝕のリスク評価 う蝕減少期におけるフッ化物歯面塗布の評価, 日本歯科衛生学会 第 8 回学術大会, 神戸市, 2013 年 9 月 14-16 日, 日本歯科衛生学会雑誌, 8(1): 139, 2013.
- 53) 田口可奈子, 野上有紀子, 八木 稔: 歯科医療機関において予防処置に必要な歯科衛生士数の推計, 日本歯科衛生学会 第 8 回学術大会, 神戸市, 2013 年 9 月 14-16 日, 日本歯科衛生学会雑誌, 8(1): 245, 2013.
- 54) 黒川孝一, ステガロユ ロクサーナ, 高野遼平, 西山秀昌, 林孝文. インプラント植立下顎骨をコーンビーム CT 撮影により 3 次元有限要素解析モデル構築する際の CT 機器間の比較検討. 社団法人日本補綴歯科学会設立 80 周年記念 第 122 回学術大会, 福岡市 2013 年 5 月 18~19 日. 日本補綴歯科学会雑誌 5 巻 122 回特別号 225 頁 2013 年.
- 55) 岸本奈月, ステガロユ ロクサーナ, 柴田佐都子, 上松弘幸, 伊藤加代子, 塚野英樹, 林宏和, 住谷美幸, 真柄仁, 辻村恭憲, 中村由紀, 谷口裕重, 堀一浩, 井上 誠, 大内章嗣. 経管栄養離脱による口腔内の水分量および微生物量の変化~経口摂取が口腔内水分量と唾液および舌苔中の微生物量に与える影響~ 日本歯科衛生学会第 8 回学術大会, 神戸, 2013 年 9 月 14-16 日, 日本歯科衛生学会雑誌 8 巻 1 号: 114 頁, 2013 年.
- 56) 中澤亜香里, 柴田佐都子, Roxana Stegaroiu, 伊藤加代子, 大内章嗣. 介護保険施設従事の介護職員・看護師における口腔ケア関連の歯科専門用語の理解度調査. 日本歯科衛生学会第 8 回学術大会, 神戸, 2013 年 9 月 14-16 日, 日本歯科衛生学会雑誌 8 巻 1 号: 93 頁, 2013 年.
- 57) 皆川渚, 石川裕子, 黒川孝一, 大内章嗣, 葭原明弘: 口腔生命福祉学科卒業生の就業状況と仕事上の悩み・ストレス 歯科衛生士と社会福祉士の比較. 日本歯科衛生学会第 8 回学術大会, 神戸, 2013 年 9 月 16 日, 日本歯科衛生学会雑誌 8(1): 256 頁, 2013.
- 58) 登坂友貴, 石井里加子, 野上有紀子, 石川裕子, 八木稔, 小野和弘, 大島邦子: ブラッシング時の歯ブラシの動的解析 一下顎切歯と大白歯の違いについて-. 平成 25 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2013 年 11 月 9 日.
- 59) 米澤大輔, 高橋英樹, 島田久幸: 障害者の地域生活支援における 24 時間相談支援サービスに関する研究-インタビュー調査による定性的データの分析をとおして-. 第 27 回日本地域福祉学会全国大会, 大阪, 2013 年 6 月 9 日, 同大会プログラム・予稿集: 101 頁, 2013.

#### 【受賞】

- 1) 有松圭: 2013 IADR/Unilever Hatton Divisional Award.
- 2) 優秀ポスター賞: 小林孝憲, 大湊麗, 児玉泰光, 小山貴寛, 永田昌毅, 飯田明彦, 小野和宏, 高木律男: 粘膜下口蓋裂に関する臨床的検討-診断と治療について-. 第 37 回日本口蓋裂学会総会・学術総会, 佐賀市, 2013 年 5 月 30-31 日. 日口蓋誌 38(2): 224, 2013.
- 3) 塚田しげみ, 柴田佐都子, 梶井友佳, ステガロユ・ロクサーナ, 大内章嗣. 入院患者の歯科専門職介入の必要性を判断するための多職種向けスクリーニング用紙の検討-歯科医師と歯科衛生士によるスクリーニング結果の比較からの考察- 日本歯科衛生学会雑誌 学術論文奨励賞・サンスター財団賞, 2013 年 9 月 15 日.

#### 【その他】

- 1) 升井一朗, 福島正義: 臨床歯科医学/歯科衛生士になるためのオリエンテーション 2013、医歯薬出版、10~11 頁、2013
- 2) 福島正義: 老年歯科医学 編集後記、P64, 28(1), 2013.
- 3) 福島正義: 委員会報告/国内渉外委員会、The News Letter Vol.27, 2013 Summer, 日本歯科審美学会
- 4) 狩野祥司: 福祉行財政と福祉計画、新たな福祉社会

を担う社会福祉士の育成支援事業研修、新潟県社会福祉士会ほか、平成 25 年 9 月 16 日

- 5) 狩野祥司:2013 年度社会福祉士模擬試験、就労支援サービス問題作成、解答、解説、ウイネット、新潟
- 6) 狩野祥司:新潟県・新潟市児童相談所新任職員研修、児童相談所の運営、新潟県中央福祉相談センター、平成 26 年 1 月 17 日
- 7) 高橋英樹:新潟市成年後見支援センター運営委員会委員長、任期 2013 年 5 月 9 日～2015 年 3 月 31 日
- 8) 高橋英樹:新潟市社会福祉協議会法人後見運営審査会審査委員長、任期 2013 年 8 月 1 日～2015 年 7 月 31 日
- 9) 高橋英樹:燕市社会福祉協議会福祉後見・権利擁護センター運営委員会委員、任期 2012 年 4 月 1 日～2014 年 3 月 31 日
- 10) 高橋英樹:新潟市中央区自立支援協議会委員、任期 2012 年 4 月 1 日～2014 年 3 月 31 日
- 11) 葭原明弘:播磨地区学校歯科保健大会「小児における効果的なう蝕予防法」、高砂市、2013 年 2 月 21 日
- 12) 葭原明弘:園・学校歯科保健担当者研修会「新潟市での活動からみた今後の歯科保健活動の方向性」、新潟市、2013 年 2 月 27 日
- 13) 葭原明弘:郡市歯科医師会・保健所関係者連絡協議会「は～もに～プロジェクトについて」、新潟市、2013 年 7 月 25 日
- 14) 葭原明弘:歯科保健医療従事者育成研修会「むし歯・歯周病対策について」、四万十市、2013 年 8 月 1 日
- 15) 葭原明弘:フッ化物洗口研修会、鹿兒島市、2013 年 8 月 24 日.
- 16) 葭原明弘:歯科保健医療従事者育成研修会「小児におけるカリエスリスクと予防処置について」、高知市、2013 年 8 月 29 日
- 17) 葭原明弘:下越地域歯科保健研修会「わかりやすいフッ化物応用講座～フッ化物洗口の実際～、新発田市、2013 年 9 月 25 日.
- 18) 小野和宏:社会で活躍する歯科医療人を育てるために一専門教育と連動したジェネリックスキルの育成と評価の現状-. PROG セミナー報告書 第 3 部大学事例報告 (2013 年度), pp90-95, 2013. ( www.kawai-juku.ac.jp/prog/event/pdf/2013seminarreport3\_3.pdf, 2014. 2. 12)
- 19) 小野和宏, 松下佳代: PBL テュートリアルと学習成果-問題解決能力は育成されているのか-. 京都大学高等教育研究開発推進センターMOST スナップショット.
- 20) 中川兼人:インタビュー回答「生活保護基準の引き下げについて」、新潟日報社 佐藤 渉 報道部記

者、新潟、2013 年 6 月 21 日、2013 年 6 月 26 日付新潟日報朝刊

- 21) 中川兼人:大学側コーディネーター「新潟市児童相談所の業務と役割」、第 7 回新潟市生活保護勉強会、新潟、2013 年 11 月 22 日
- 22) 中川兼人:分科会リーダー「相談援助実習と相談援助演習の連携のあり方」、第 9 回社会福祉士実習教育推進大会、豊島区、2013 年 12 月 7 日、社会福祉士養成校協会関東甲信越ブロック資料集
- 23) 中川兼人:新潟市入札等評価委員会」委員長:任期 平成 25 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日
- 24) 中川兼人:「新潟市水道局入札等評価委員会」委員長:任期 平成 25 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日
- 25) 中川兼人:「新潟市民生委員推薦会」委員:任期 平成 25 年 10 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日
- 26) 八木 稔, 山本未陶, 川崎浩二, 筒井昭仁:新たな時代の乳歯う蝕のリスク評価と歯科保健プログラムの開発 - 再考・乳歯う蝕予防 -, 第 62 回日本口腔衛生学会・総会, 自由集会 3, 松本市, 2013 年 5 月 15-17 日.
- 27) 柴田佐都子:平成 25 年度認定歯科衛生士セミナー摂食・嚥下リハビリテーションコース 摂食・嚥下訓練 各病態に対する訓練法とその選択, 公益社団法人日本歯科衛生士会, 平成 25 年 10 月 12 日 (土), 日本歯科大学生命歯学部 (東京都千代田区富士見)

## 歯科総合診療部

### 【著書】

- 1) 小林哲夫: 第 4 章 身につけたい看護技術, 4. 口腔ケア『納得! 実践シリーズ リウマチ看護パーフェクトマニュアル』(村澤 章・元木絵美 編著), 202-208 頁, 羊土社, 東京, 2013 年 6 月.
- 2) 小林哲夫, 吉江弘正: 第 3 章 検査, 診断と治療 2 歯周病の検査<アドバンス編>歯周病の活動性. ザ・ペリオドントロジー第 2 版 (和泉雄一・木下淳博・沼部幸博・山本松男 編集), 84 頁, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2014 年 3 月.
- 3) 小林哲夫: 第 9 章 ペリオドンタルメディスン 8 歯周病と関節リウマチ. ザ・ペリオドントロジー第 2 版 (和泉雄一・木下淳博・沼部幸博・山本松男 編集), 258-259 頁, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2014 年 3 月.

### 【論文】

- 1) Okada M, Kobayashi T, Ito S, Yokoyama T, Abe A, Murasawa A, Yoshie H: Periodontal Treatment Decreases Levels of Antibodies to *Porphyromonas*